

(仮称)産学官民連携センターについて

～「高等教育機関の知見・活動」・「地の利（永国寺キャンパス）」を活かし県勢浮揚を目指す“3つの(つながる)拠点機能”～

**知の拠点** 高等教育機関とつながる“知”の拠点

**I 県内の高等教育機関につなぐ相談窓口の設置**

- 企業・地域の課題・ニーズに対し、県内の高等教育機関（以下、大学等）の知見や学生の活力を活かした取組に繋げる相談窓口を設置します。

・産業振興、地域振興など

大学等の担当者・  
県職員が対応

**Point** 大学等の担当者が日常的に顔を会わせて情報共有や議論を深める場とします。

≪ 学の連携、共同研究・活動等へ ≫

- 産学官連携を推進するプラットフォームの役割を果たしていきます。

・高知県商工労働部と連携して産学官連携会議の開催  
・各機関が行なう産学官連携に関する取組や補助金等の情報共有

- 各専門機関と連携し効率的に活動します。

・大学等の産学官連携・地域連携部門  
・産業振興センター・公設試験研究機関  
・国、JST

連携して  
課題解決等へ

**交流の拠点** 産学官民がつながる“交流”の拠点

**II 産学官民の交流機会の創出**

- 交流スペースを設置し、企業・地域の方々が、大学等のシーズや活動を知る場、学生と課題解決等々に取組む場等、大学等と交流する機会を創出します。

・サイエンスカフェ、シーズ紹介、ニーズ発表

・学生×企業・地域のワークショップ等

・インターンシップを通じた交流促進  
(受入企業等との共同研究への発展等)

地の利を活かし  
交流促進

- 注目テーマや地域資源の活用方法の勉強会、セミナー等の開催により、産学官民の交流機会を創出します。

・土佐まるごと社中定例会、研究会の設置 等

ねらい

<知る・見つける>

・知識、情報、ヒント  
・シーズ、取組  
・連携相手、人材の掘起し

<つながる>

・意欲向上、アイデア  
・イノベーション、課題解決  
・人脈形成、連携プロジェクト

**人材育成の拠点** 産業振興や地域振興につながる“人材育成”の拠点

**III 人材育成の実施**

- 土佐MBAの実施  
産学官の連携により構築した産業人材育成プログラム「土佐まるごとビジネスアカデミー（通称 土佐MBA）」を実施します。

**Point** 受講生のフォローアップ

しっかりフォロー

・受講生の学びのステップアップを促進  
・支援施策や機関の紹介等も行うことにより、事業活動の次なるステージへの支援  
・受講生同士、OB・OG、土佐まるごと社中などのネットワークづくりを支援

- 大学等が実施する社会人教育や人材育成情報を一元的に情報発信します。

- 県の基本政策等の推進に向けて各機関が行なう人材育成研修等に大学等の講師等を紹介します。

日本一学びの機会が多い県を目指して

連携  
プロジェクト

3つの拠点機能を活かした連携プロジェクトの推進

- 大学等の知見等を活かし、県勢浮揚につながる連携プロジェクトの企画、立案、実施、実施支援を行ないます。

(例) 高知県産業振興計画等に大学等の知見等を活かしていく連携プロジェクト  
○取組等の中から、大学等が参画することで事業拡大や拡充の可能性のあるものを抽出

○期待される効果、支援方法、予算（各種支援制度含む）等を検討

○各機関の役割分担、成果目標等を設定し、プロジェクトに取組む  
≪ 「学」を中心に情報共有・協議・調査等を実施 ≫

3つの拠点機能が産学官民にもたらす効果

産・民：大学等の知の活用機会が増加し、  
①新サービスや新商品の創出、収益向上や雇用創出  
②企業・地域等の課題解決  
③若手人材の地域定着 等

大学等：①情報の共有化等による、共同研究・外部資金獲得促進  
②地域志向型の教育・研究・共同研究等、大学等の地域貢献活動の促進  
③大学等の魅力アップ、大学等に対する県民の信頼増進 等

県全体：大学等の知・活力を活用した取組の加速化による県勢浮揚

「(仮称)産学官民連携センター」施設の概要(案)

1 所在地、面積等

所在地：高知県高知市永国寺145, 146  
永国寺キャンパス地域連携棟1階内

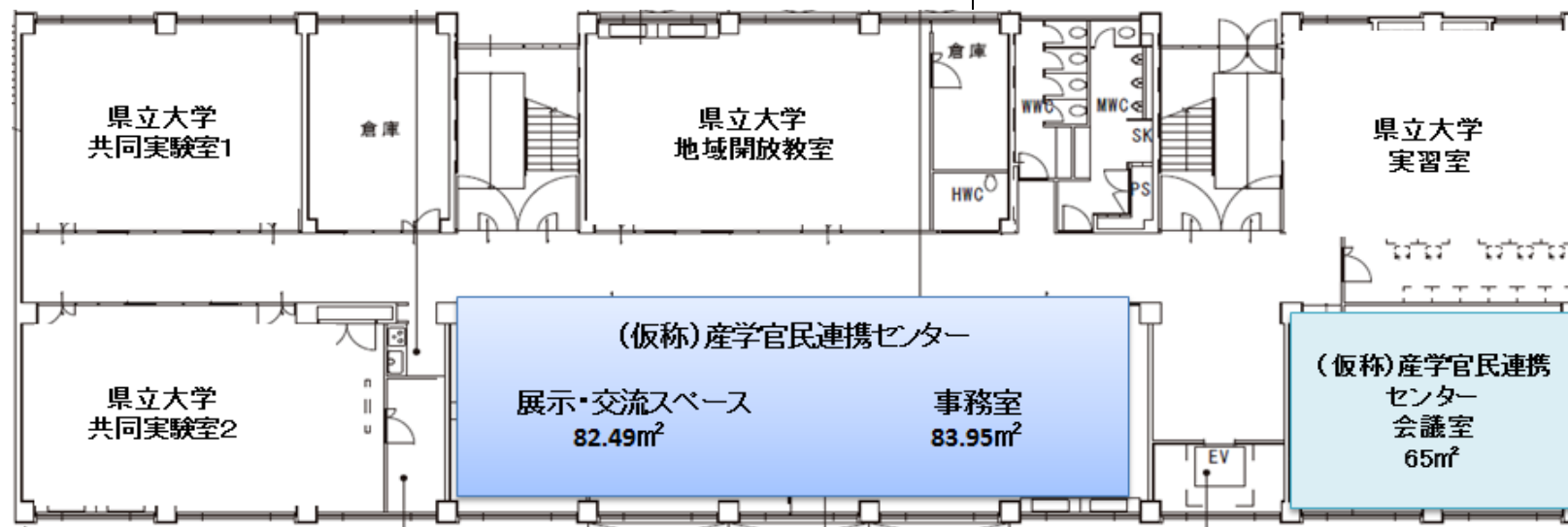
面積：231.44㎡  
(事務室・交流スペース：166.44㎡)  
(会議室：65㎡)

2 整備～開所スケジュール

地域連携棟耐震改修工事：H26年7月からH27年1月末まで  
備品搬入等：H27年2月から3月  
開所：平成27年4月

3 センター平面図

高知県立大学永国寺キャンパス地域連携棟1階



永国寺キャンパス鳥瞰図

